

- ①本大会は日本ラグビーフットボール協会競技規則に則って行われるが、以下に示すようにローカルルールを適用し実施する。
- ②12チームで予選トーナメントおよび順位トーナメント決定方式にて行う。
- ③大会登録選手高校1年生とし、登録選手は何名でも交替を認める。
※ローリングサブ方式（ローテーション・サブスティテュション）を採用し、試合中に交替した選手が再び試合に出場できる。（選手交代の機会を増やすことで、より多くの選手に試合経験を積ませ、試合を活性化させケガへのリスク回避を図る）
特例により、ケガ・負傷などにより1年生だけではチームが編成できない場合、事務局及び対戦相手チームの了承の上で、登録メンバー外からバックアップメンバー（上級生）の出場を許可する。
- ④試合時間は予選トーナメントは前半20分-ハーフタイム5分-後半20分、順位決定トーナメントは前半25分-ハーフタイム5分-後半25分にて行う。
全ての試合でインジャリertimeは適用する。
- ⑤順位決定トーナメントの決定にあたり、予選トーナメントの結果にて同順位の3チームで以下の順序で上位、下位トーナメントへの進出を決定する。
1.予選トーナメントでの総得失点差 2.予選トーナメントでの総得点 3.総トライ数 4.総ペナルティトライ数 5.抽選
※順位決定トーナメント
・1位～4位決定トーナメント（各プール1位と2位グループの1位の4チーム）
・5位～8位決定トーナメント（2位グループの2、3位と3位グループの1位、2位の4チーム）
・9位～12位決定トーナメント（3位グループの3位と各プールの4位の4チーム）
順位トーナメントの組み合わせについては予選トーナメント終了後、抽選にて行う。
- ⑥予選トーナメント、順位トーナメントにおいて同点の場合、以下の順序で勝者を決定する。
1.トライ数 2.ペナルティトライ数 3.トライ後のゴール数 4.ファーストトライ 5.ファーストポイント 6.0-0は抽選
- ⑦試合中に競技場内にいる監督・コーチ・スタッフ・選手はチームベンチに位置しなければならない。
無線機の使用を認めるが、ウォーター係は使用することはできず、ビブスを着用したメディカルスタッフ（ドクターおよびセーフティアシスタント）がプレーの指示をしてはならない。
リザーブの選手のウォームアップについてはこれを認める。
- ⑧スクラムにおいてレフリー及び各チーム監督判断のうえ、ノーコンテストも対応できる。
- ⑨各試合において、交代枠の制限はないが出場選手はジャージ着用（背番号割り当て）のこと。
- ⑩ヘッドギア、マウスガードの着用は必須とする。
- ⑪イエローカード / シンビンの一時的退出時間は6分間とする。
◆同一試合で同一選手が2回目の一時的退出を宣告された場合、その選手は退場とし、最低限次の1試合の出場は認めない。
◆本大会中に同一選手が3回目の一時的退出の宣告をされた場合、その選手はその場では退場とならないが、最低限次の1試合は出場停止とし、大会事務局及び各チーム監督話し合いのうえ、その後の処分を決定する。
- ⑫レッドカード / 退場者については最低限次の1試合を出場停止とし、チームに警告。
大会事務局及び各チーム監督話し合いのうえその後の処分を決定する。
イエローカード、レッドカードともにその後の他大会への累積はしない。
- ⑬試合中の怪我に関してはマッチドクターを大会本部に配置し応急処置や救急車の手配等の対応はするが、それ以外は各チーム負担とする。チームでのメディカルスタッフはこれを認める。（ビブス着用）
- ⑭不戦敗について / 試合開始時にグラウンドで試合の準備ができていないチームがあった場合は、いかなる理由においても不戦敗とする。
- ⑮ウォーター係は各チームで用意し3名までとする。（ビブス着用）
（※④～⑮はROOKIES CUPのみ採用）